



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 大

上場会社名 神東塗料株式会社

コード番号 4615 URL <http://www.shintopaint.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役(経理担当) (氏名) 波多野 健

TEL 06-6429-8474

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,458	3.5	304	△6.8	336	△18.1	159	△16.3
23年3月期第2四半期	10,101	8.5	326	58.7	410	71.4	190	73.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 179百万円 (△4.1%) 23年3月期第2四半期 187百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.14	—
23年3月期第2四半期	6.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	32,863	12,649	37.6
23年3月期	32,965	12,607	37.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 12,341百万円 23年3月期 12,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	3.0	650	1.6	800	1.3	460	21.0	14.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	31,000,000 株	23年3月期	31,000,000 株
24年3月期2Q	12,756 株	23年3月期	12,509 株
24年3月期2Q	30,987,285 株	23年3月期2Q	30,988,250 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する新規レビューが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気停滞局面から復興に向けた回復基調にあるものの、円高やギリシャ債務危機を発端とする欧米の金融市場の閉塞化や米国経済の減速、さらには前期から続く原材料価格の高騰などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましてはこうした経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業の展開とともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,458百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。損益面では、営業利益は304百万円（前年同四半期比6.8%減）、経常利益は336百万円（前年同四半期比18.1%減）、四半期純利益は159百万円（前年同四半期比16.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(塗料事業)

アルミ電着塗料は期初では東日本大震災の影響によりユーザーの操業低下による影響が見られましたがその後、早期に回復し、戸建市場も緩やかな回復を続け、メンテナンス市場も好調を維持しました。また、新規ラインの獲得により、シェアが拡大し、さらに中国進出などが奏功したことにより売上は増加いたしました。

工業用電着塗料は東日本大震災の影響を受けたユーザーが早期に回復したことにより、堅調に推移いたしました。新規獲得ラインについても安定稼働を続け、また、鋼製家具、建材、電気機器、自動車部品ユーザー向けも回復基調にあり、震災復興需要も相俟って出荷量が伸長し、売上は増加いたしました。

粉体塗料は新規ユーザーの獲得及び既存ユーザーでの新規ラインの獲得により出荷量が増加し、売上は増加いたしました。

工業用塗料は東日本大震災の影響を受けた主力ユーザーが早期に回復し、主力の工作機械・建設機械の需要回復と新規開拓活動の成果により、売上は増加いたしました。

建築塗料は、東日本大震災の復興需要や積極的な指名活動を展開した結果、新規受注を獲得することが出来、また既存ユーザー向けの新製品の出荷量も増加し、売上は増加いたしました。

防食塗料は東日本大震災の影響による需要減があり、公共需要での新設橋梁向け出荷はやや低調でありましたが、本四架橋をはじめとする橋梁メンテナンスが堅調に推移いたしました。さらには、耐候性鋼表面処理剤が大型工事物件の進捗により出荷量が大幅に伸び、売上は増加いたしました。

道路施設用塗料は7月までは、すべり止め材と段差修正材及びペイントライナーが好調を維持いたしました。以降は特に東日本地区において、大震災の影響による出荷量の減少傾向が続き、売上は減少いたしました。

軌道材料製品については、道床安定剤の出荷が好調に推移し、スラブ補修材も一時的に出荷量の増加はありましたが、震災復興需要にはつながらず、売上は減少いたしました。

自動車用塗料は、震災で壊滅的な打撃を受けたサプライチェーンが、その後回復基調に入ったものの、ユーザーの震災直後の生産休止による出荷量の減少が響き、売上は大幅に減少いたしました。

この結果、塗料事業の売上高は9,570百万円、セグメント利益は337百万円となりました。

(化成品事業)

受託生産している、化成品事業の売上高は888百万円、セグメント損失は1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産が前連結会計年度末に比べ61百万円、受取手形及び売掛金が21百万円減少したこと等により32,863百万円（前連結会計年度末比101百万円減）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、長期借入金が799百万円増加し、短期借入金が758百万円、支払手形及び買掛金が152百万円減少したこと等により20,213百万円（前連結会計年度末比144百万円減）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金が30百万円増加したこと等により12,649百万円（前連結会計年度末比42百万円増）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、1,515百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、289百万円となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益334百万円及び減価償却費309百万円の収入、仕入債務の減少による支出152百万円及び法人税等の支払による支出217百万円等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、△192百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出190百万円等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、△95百万円となりました。その主な要因は、短期借入れによる収入1,600百万円、短期借入金の返済による支出920百万円、長期借入れによる収入2,000百万円、長期借入金の返済による支出2,639百万円、配当金の支払による支出123百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

親会社及び連結子会社の建物以外の有形固定資産については、従来定率法により償却しておりましたが、第1四半期連結累計期間より定額法に変更しております。これは、当社のその他の関係会社である住友化学株式会社の会計方針の変更を契機として見直した結果、当社グループの主要な製造設備については、今後長期的かつ安定的な稼働率が見込まれるため、定額法に変更したものであります。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ19百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,544	1,548
受取手形及び売掛金	7,061	7,040
商品及び製品	1,528	1,598
原材料及び貯蔵品	677	670
その他	297	242
貸倒引当金	△32	△34
流動資産合計	11,075	11,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,701	2,605
機械装置及び運搬具（純額）	578	604
土地	16,456	16,456
その他（純額）	205	214
有形固定資産合計	19,942	19,881
無形固定資産		
投資その他の資産	462	448
投資有価証券	878	864
その他	607	604
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,484	1,468
固定資産合計	21,889	21,798
資産合計	32,965	32,863
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,995	5,843
短期借入金	4,872	4,114
未払法人税等	232	169
賞与引当金	191	193
その他	751	692
流動負債合計	12,044	11,013
固定負債		
長期借入金	1,565	2,364
再評価に係る繰延税金負債	5,114	5,114
退職給付引当金	955	1,058
役員退職慰労引当金	9	11
負ののれん	9	6
その他	660	646
固定負債合計	8,313	9,200
負債合計	20,357	20,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	2,809	2,845
自己株式	△2	△2
株主資本合計	5,648	5,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	9
土地再評価差額金	6,725	6,725
為替換算調整勘定	△72	△76
その他の包括利益累計額合計	6,666	6,658
少数株主持分	292	307
純資産合計	12,607	12,649
負債純資産合計	32,965	32,863

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,101	10,458
売上原価	7,998	8,245
売上総利益	2,102	2,213
販売費及び一般管理費		
発送費	264	265
広告宣伝費及び販売促進費	46	49
従業員給料及び手当	464	485
賞与引当金繰入額	60	97
退職給付費用	110	125
減価償却費	55	80
試験研究費	83	80
その他	690	723
販売費及び一般管理費合計	1,775	1,908
営業利益	326	304
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	8
受取賃貸料	20	16
持分法による投資利益	75	29
その他	22	14
営業外収益合計	125	70
営業外費用		
支払利息	39	32
その他	2	5
営業外費用合計	41	38
経常利益	410	336
特別損失		
固定資産除却損	2	1
ゴルフ会員権評価損	6	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	54	—
特別損失合計	63	1
税金等調整前四半期純利益	347	334
法人税等	131	146
少数株主損益調整前四半期純利益	215	187
少数株主利益	25	28
四半期純利益	190	159

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主利益	25	28
少数株主損益調整前四半期純利益	215	187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△3
その他の包括利益合計	△28	△8
四半期包括利益	187	179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161	150
少数株主に係る四半期包括利益	25	28

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	347	334
減価償却費	289	309
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	54	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	95	103
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1	1
受取利息及び受取配当金	△7	△9
支払利息	39	32
持分法による投資損益 (△は益)	△75	△29
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△0
有形固定資産除却損	2	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△163	21
たな卸資産の増減額 (△は増加)	72	△62
仕入債務の増減額 (△は減少)	△64	△152
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15	26
その他	△40	△101
小計	543	479
利息及び配当金の受取額	48	54
利息の支払額	△40	△27
法人税等の支払額	△185	△217
営業活動によるキャッシュ・フロー	367	289
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△123	△190
有形固定資産の売却による収入	—	0
投資有価証券の売却による収入	5	0
長期貸付けによる支出	△1	—
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△113	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350	1,600
短期借入金の返済による支出	△430	△920
長期借入れによる収入	1,000	2,000
長期借入金の返済による支出	△834	△2,639
社債の償還による支出	△50	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△123	△123
少数株主への配当金の支払額	△13	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101	△95
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	33	0
現金及び現金同等物の期首残高	1,438	1,514
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,472	1,515

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	9,207	893	10,101	10,101
セグメント利益	385	25	410	410

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	410
四半期連結損益計算書の経常利益	410

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	9,570	888	10,458	10,458
セグメント利益又は損失（△）	337	△1	336	336

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	336
四半期連結損益計算書の経常利益	336

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。